

青い波北陽台

雨と防災

校長 大川 周一

大気中の水蒸気が高所で凝結し、水滴となって地上に落ちるものを雨という。季節によっては「春雨」「梅雨」「秋雨」「氷雨^{ひさめ}」、大気の状態によっては「霧雨^{はくう}」「白雨(にわか雨)」「霖雨^{りんう}(長雨)」「天気雨(狐の嫁入り)」など、雨の呼び名は実に多種多様である。広辞苑をめくってみると、なんと雨の種類は50以上もあって、昔の人の繊細な自然観や豊かな表現力に妙味を感じる。雨には、大地を潤し生命を育む恵みの雨もあれば、洪水や浸水、土砂災害を引き起こす豪雨もある。美しい川のせせらぎは瞬く間に激しい濁流と化し、山々は地滑りを起こすなど雨水の力はすさまじい。

先日、九州北部もようやく梅雨明けしたが、平年よりも期間が短い割には雨量がとても多い梅雨であった。幼い頃の記憶をたどれば、しとしとと静かに降り続く「小糠雨^{こぬかあめ}」(糠の粉のように粒子がきめ細かい雨)の梅雨を思い浮かぶが、近年は、激甚災害につながるような「篠突く雨^{しのつ}」が増えている。「篠」とは細い竹のことで、あたかも竹が束になって空から降り注ぐような激しい大雨を意味する。令和3年8月の九州北部豪雨では、わずか2日ほどで降った雨が、例年の1か月分に相当する降水量を超えた「篠突く雨」であったことは記憶に新しい。

予測困難なゲリラ豪雨に留まらず、豪雨災害の大きな要因となる“線状降水帯”という気象用語も私たちの耳にすっかり定着した。線状降水帯とは、次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなし、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞する気象現象で、大きいもので幅50km、長さ400kmにも達する雨雲である。その位置は瞬間的にレーダーで捉えることができても、線状降水帯が止まったままなのか、いつ動き出すのかということを確認して予測することは難しいとされている。それ故に、この程度なら“大丈夫だった”という過去の経験を決して過信してはならない。

孔子が編纂した史書「春秋」の注釈書の中には、次のような件がある。**「居安思危^{こあんしき}」**
「安きにおいて危うきを思う」」「思則有備(思えばすなわち備え有り)」「有備無患(備え有れば患い無し)」・・・
平穏なときでも、絶えず危機に対処するための心構えを持ち、いざというときの準備を怠らないことの大切さを説いている。ある意味、防災や危機管理の普遍的な考え方に通じる言葉である。時間とともに防災に対する意識が薄れ、過去の教訓を活かそうとしなければ、再び尊い人命が失われるリスクは高まる。報道を通して伝わってくる被災地の方々の悲しみ、災害と向き合い復興をめざし懸命に立ち上がろうとする人々の姿は、命を守るための「居安思危」の重要性を再認識させてくれる。人工衛星やビッグデータを駆使した気象予報の精度は年々高まっているが、その情報を得て、行動を起こすのは自分自身である。注意報や警報、避難勧告に謙虚に耳を傾け、たとえ避難が空振りになったとしても、それを良しとする柔軟な思考も必要だ。また、治水施設が整っていたとしても、大切なのは、自然の力に人は決して逆らえないことを認識し、**自分の命は自分で守る**という防災に対する基本意識と日頃からの備えを怠らないことに尽きる。

小松左京の日本沈没とまではいかないにせよ、私たちは、災害列島日本で生活しているということを忘れてはならない。



～今夏も長崎北陽台高校は熱い！～

令和6年度も多くの生徒が、7・8月の各種上位大会に出場します。がんばってください！

第26回中四国九州地区課題研究発表大会口頭部門

【理数科：本田さん、平松さん、山田さん、横山さん、網谷さん、久保田さん】

第48回全国高校総文祭（清流の国ぎふ総文祭）

【生物部：本田さん、平松さん】

令和6年度全国高等学校総合体育大会（北部九州インターハイ）

【登山男子：中村さん、宮本さん、森さん、池田さん】

【登山女子：有川さん、中尾さん、宮崎さん、朝倉さん】

【弓道男子：桂木さん、川畑さん、小岩さん、本間さん、佐々木さん、松尾さん】

【卓球男子：松永さん】

【ヨット女子：久松さん】

○北部九州インターハイが始まります！

本校は、弓道、卓球、ローイング（ボート）、アーチェリーの各競技で1・2年生は補助員、教職員は大会役員として競技運営に関わります。高校日本一を決定する大会を間近で見られることはとても貴重な経験になります。大会期間中は暑い日が予想されますので、十分な食事と睡眠を取り、熱中症対策にも努めてそれぞれの役割を果たしましょう。



【各種競技で活躍した生徒と全国大会に出場する生徒たち】

〈 校内競技大会 〉

7月8日と9日、校内競技大会が行われました。サッカー、バスケット、バレーボールの各競技が行われ、選手が不足しているチームには教員も参加するなどして激しい戦いが繰り広げられました。次回は来年3月です！ 大会の結果は以下の通りです

サッカー男子
1位 3年4組
2位 3年7組

バスケット男子
1位 3年4組
2位 3年7組

バレー男子
1位 2年1組A
2位 2年5組

サッカー女子
1位 2年7組
2位 3年2組

バスケット女子
1位 3年1組
2位 1年7組

バレー女子
1位 3年8組
2位 2年2組



オープンスクール

7月6日（土）に令和6年度のオープンスクールを実施しました。

このオープンスクールは、（1）本校の教育活動の一端を模擬授業や部活動見学等で体感してもらい、中学生やその保護者に理解してもらう。（2）出身中学校の生徒と交流することで、本校の実生活を語る中から本校の良さをアピールする。（3）入学者選抜の制度変更について周知徹底する。という3点を目的として開催したものです。当日は、中学生461名、保護者246名の合わせて707名の参加をいただき、大盛況でした。離島の中学校からの参加者もありました。

最後には、来年度の新入生から取り入れる新制服披露のファッションショーが開催され、在校生の代表生徒が新制服を着用して、オープンスクール参加者の前を歩きました。長崎北陽台高校の新たなスタートを感じさせる披露となりました。

受付



全体会



厚さ対策でクーラーが使える25教室分散して実施しました

模擬授業（国際探究）



模擬授業（生物）



先輩との交流



新制服披露



【1学年より】

「実りにつながる夏にする」

1学年 下條 尚子

入学式以来あっという間に1学期が過ぎゆき、季節も変わりました。保護者の皆さま、この度は三者面談にご来校いただき有難うございました。わずかな時間でしたが、お子様のご様子をお伺いし、ご家庭でのご様子なども垣間見ることができてありがたい機会でした。なお、普通科は文理選択、文理探究科は国際・理数探究について進路の意思確認をさせていただきました。夏休みの期間を活用して、ご家庭で今一度進路研究、大学の学部学科研究などを進めていくことを期待しています。

1学期は、高校生活に適應していくことに力が注がれたと思います。学習面、生活面、中学校とは大きく異なる状況に、戸惑う人も多かったのではないのでしょうか。学習面では、授業の進むスピードや、学習量の多さに驚き、部活動でも先輩方との大きな力の差に気づき、憧れを抱いたのではないのでしょうか。クラスについては、先日競技大会が実施され、クラスの親睦も深まりました。個人のレベルでは、生活面で問題が生じる状況もありましたが、その都度自分の状況を見直し、改善に向けた行動がなされたと思います。高校は自分の中で大きな成長、飛躍が見られる尊い時期です。そのような中、無事に節目を迎えていることをうれしく感じています。

7月19日に夏休みの生活について計画を立てました。秋は、高校生活での積み重ねが大きく響いてくる時期です。生徒の皆さんが有効な時間の使い方を工夫し充実した夏休みを送り、2学期開始時に元氣な姿で再会することを楽しみにしています。保護者の皆さま、引き続きご支援をよろしく願います。

【2学年より】

「 熱い夏 」

2学年主任 山口 貴明

2年生になって約4か月が過ぎました。まだ1学期は終了していませんが、夏休みを挟むこととなります。ここまで、2年生の生活は順調でしょうか？

校内合唱コンクールでは、2年生の活躍ぶりは見事だったと思います。各クラス、それぞれ持ち味が出ていい取り組みでした。生徒会への立候補も、積極的にやってくれたと思います。定数がありますので、残念ながら落選することももちろんあるわけですが、何も恥じることはありません。よくぞ「チャレンジ」した。この経験は必ずこの後のあなたたちの人生においてプラスに働くはずですよ。

前後しますが、高総体では優勝したラグビー部、登山部はもちろんですが、その他の部も健闘していたのではないのでしょうか。今回、私は男女バスケット部の応援に行く機会がありましたが、大変勉強になりました。格上相手に果敢に挑んでいき、もう少しで、というところでした。残念ながら敗れてしまいましたが、今後の可能性を感じる戦いだったと思います。しかし、私がこの大会で感じたことは、やはり勝つためには「確かな技術」が必要だということです。技術習得のためには、鍛錬を重ね、強い意志を持って継続すること。すぐに飽きたり諦めたりしては身につかないでしょう。これは勉強面でも同じことが言えると思います。誰でも上達したい、学力を向上させたいという思いはあります。それをどれだけ強く実現したいと思ひ、思い続けることができるのか。そこが大切でしょう。

この夏は「熱い」夏になります。3年生で頑張るのは当たり前。2年生のうちにどれだけやれるのか。思いを強く持ち、部活動でも勉強でも、自分を成長させる夏にしてください。

【3学年より】

～インターハイに向けた清掃活動～

7月17日(水)午後、インターハイに向けた地域清掃活動を行いました。これは、今年度開催される北部九州インターハイに向けた取組の一貫で、県下の各高等学校でも実施されています。本校では、3学年で学校のつつじ坂、長与駅、高田駅、長与町役場周辺で清掃活動を行いました。インターハイには3学年からは、弓道、登山、ヨットの3種目で出場します。全国の舞台での活躍を期待します。



～スタディサプリ活用の説明会～

7月18日(木)に生徒向けスタディサプリの活用の説明会を行いました。リクルート社の担当の方から直接説明をいただき、今後の学習に活かすために実際に操作をしながら活用法を学びました。



○夏季学習会を実施します

<場所、日時>

- ・校内学習会(学校) 7月27日(土)、8月5日(月)、6日(火) 3日間
- ・校外学習会(長崎県総合福祉センター) 7月29日(月)～8月3日(土) 6日間

<学習会スケジュール>

自学①8:30～10:30 自学②10:45～12:45 自学③13:30～15:30 自学④15:50～17:50
自学⑤20:30～22:30(自宅で)(ご家庭でも声かけをお願いいたします。)

1日10時間(学習会8時間、自宅2時間)の計画を立て、学習に取り組めます。これまでの学習をふりかえり、進路実現に向けて、個々がどのように学ぶのか、何をすべきなのかを改めて考える機会です。先生方に質問する絶好の機会でもあります。夏季の学習をきっかけに自分で考えて学習に取り組める自己調整型の学習者へ変容してほしいと思います。また、学習に集中するためには基本的な生活習慣が大切です。睡眠、食事、休養のバランスを考え、健康第一に頑張りましょう。ご家庭でも今後ともサポートをお願いいたします。

8月の主な行事予定

- 1日(木) 夏季校外学習会(3年) (~3日)
長崎大学水産学部研修(1年文理探究) (~2日)
- 5日(月) 夏季校内学習会(3年) (~6日)
- 8日(木) 長崎大学多文化研修(2年文理探究・国際)
ポルトガル高校との交流
- 9日(金) 登校日 平和学習 全国大会等報告会
- 10日(土) 学校閉庁期間 (~15日)
ポルトガル高校との交流
- 21日(水) 授業日設定 (~30日)
表彰伝達式・開始式
1・2年:校内実力(国数英) 3年:授業
- 23日(金) 長崎県立大学研修(2年文理探究・理数)
- 24日(土) GTEC(希望者) 全統記述(3年)
- 31日(土) 土曜講座(3年)

